オリンパス株式会社

会社案内

2026年4月発行　8月更新

Content / 目次

1. グローバル・メドテックカンパニーとして
2. オリンパスの事業
3. 経営戦略
4. 持続可能な社会の実現のために
5. 会社情報
6. 付録 :オリンパスの歴史

グローバル・メドテックカンパニーとして

01

経営理念

Our Purpose

Making people's lives healthier, safer and more fulfilling

Our Core Values

1950年に世界で初めて、胃カメラの実用化に成功してから、私たちオリンパスは医療従事者の方々と共に、内視鏡医療の発展に貢献してきました。

私たちは、世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現のために、これからも医療水準の向上、そして患者さんのアウトカムの改善に貢献してまいります。

「Patient Focus（患者さん第一）」、「Integrity（誠実）」、「Innovation（イノベーション）」、「Impact（実行実現）」、そして「Empathy（共感）」

新たに再定義された５つのコアバリューは、私たちが患者さんの安全や品質を最優先するグローバル・メドテックカンパニーとして成長していくための 指針です。

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

True to Life

「True to Life」は、私たちの存在意義のために尽力し続けるオリンパスの姿勢を表しているグローバルブランドメッセージです。

オリンパスは、人生を豊かに送るための機会が全ての人に
与えられるべきと考えています。誰もがその一度きりの機会を最大限に
生かせるように、医療技術によるソリューションを日々進歩させることで、
全ての人の好奇心や向上心、夢、志を満たし、心の豊かさを実現します。

オリンパス拠点

28,138

全従業員数*

40

拠点のある国や地域*

* 2026年3月現在

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

患者さんへの貢献

5,300万人以上

大腸内視鏡件数／年*

*アメリカ、ドイツ、フランス、英国、イタリア、スペイン、日本、カナダ、ポーランド、韓国、オーストラリア、インド、ロシア、中国の数値（2022年）

出典：自社調査　2026年4月現在

100

適応可能な疾患数

オリンパスは100*の疾患の治療に
役立つ様々な医療機器を提供しています

出典：自社調査　2026年3月現在

TOP3

罹患数の多い３つのがんに

オリンパスは、罹患数の多い5つ*のがんのうち、
肺がん、胃がん、大腸がんへの治療機器を提供すると
ともに、その他のがんの治療機器の開発も行っています

*乳がんと前立腺がんを除く、罹患数の上位３つ
Source: GLOBOCAN 2022

TOP100

Global Innovator

オリンパスは、2012年から2020年にかけて、
および2022年, 2023年に、世界で最も革新的な
企業トップ100に選ばれています

https://clarivate.com/top-100-innovators/

296

Awards

オリンパスは、1966年以来、
革新的なデザインに対して
国内外から表彰されています*

*2026年3月現在

15,000

特許の保有件数*

オリンパスグループ全体（グローバル）

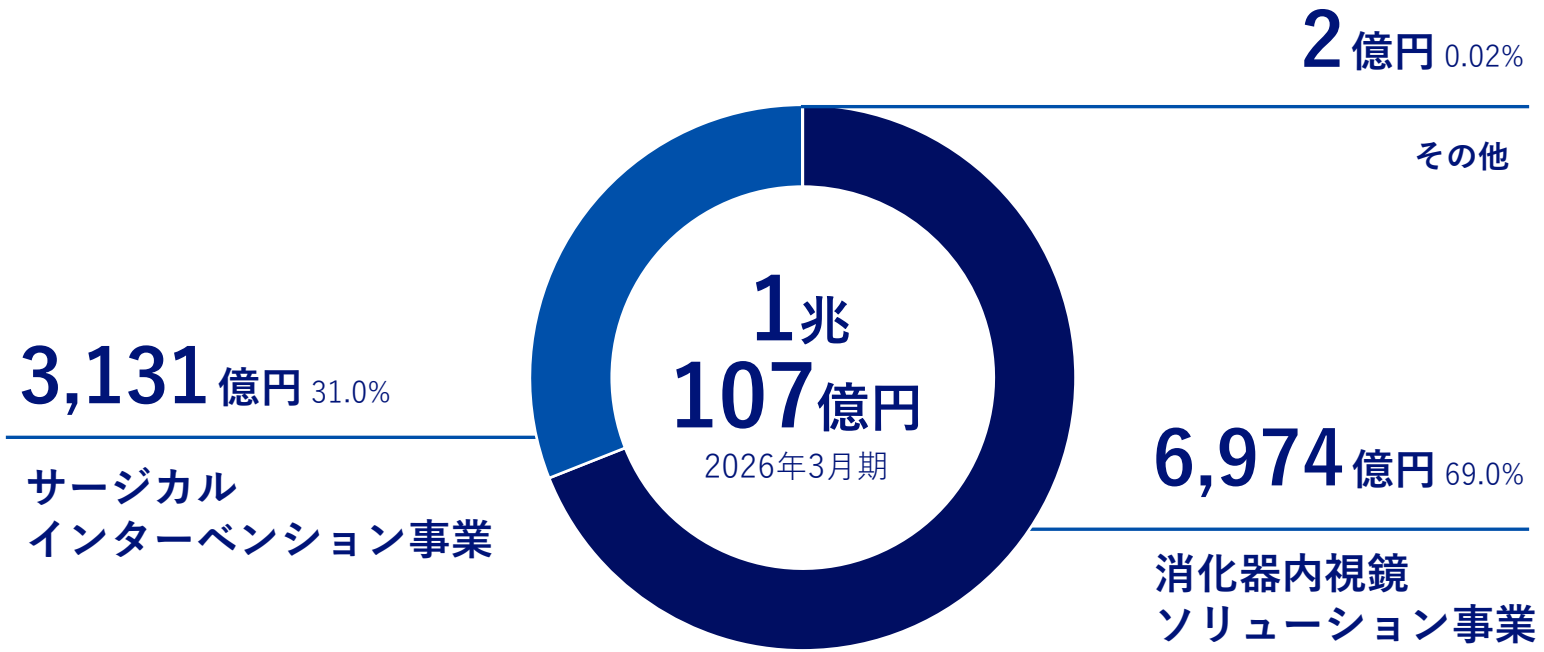
*2026年3月現在

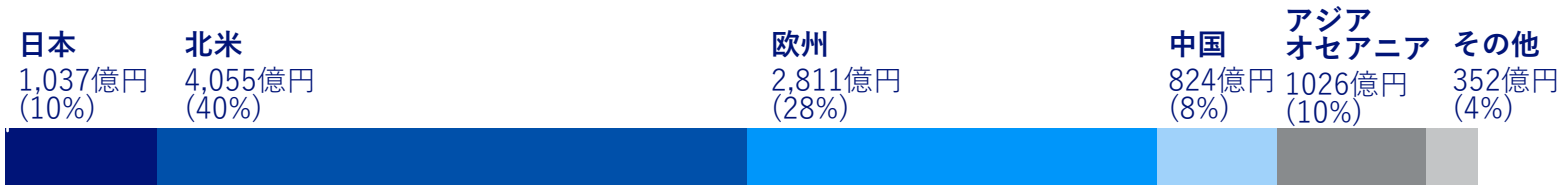
Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

オリンパスの事業

02

事業別・地域別売上高



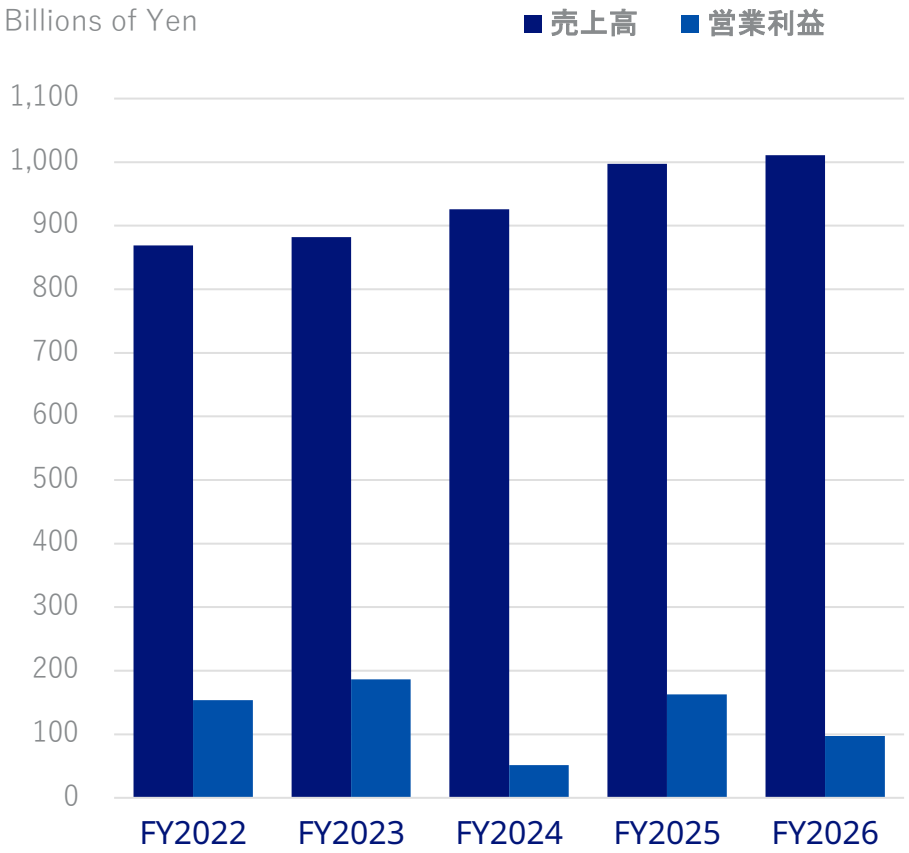


出典：2026年3月期 決算参考資料

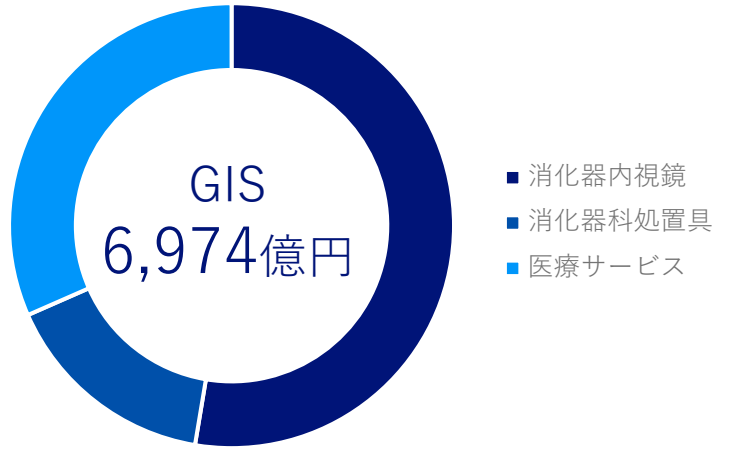
注：2025年4月より、事業部門である 内視鏡事業と治療機器事業を、消化器内視鏡ソリューション事業（GIS事業）とサージカルインター ベンション事業（SIS事業）の新しい部門に再編しています。
四捨五入のため、合計値が100%にならないことがあります。

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

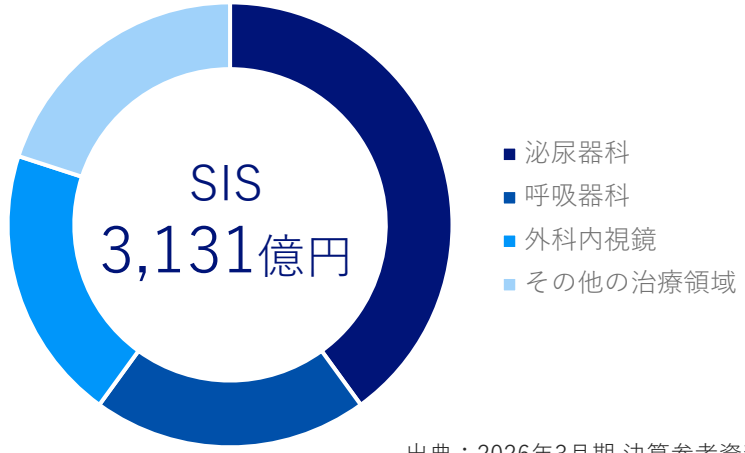
売上高・営業利益の推移



69%
消化器内視鏡
ソリューション事業



31%
サージカル
インターベンション
事業



*注：四捨五入のため、合計値が100%にならないことがあります。

出典：2026年3月期 決算参考資料

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

消化器内視鏡ソリューション事業

消化器内視鏡システム

消化器内視鏡ビデオスコープシステム

超音波内視鏡システム

内視鏡用処置具

大腸内視鏡用
デバイス

高周波ナイフ

ERCPデバイス

止血デバイス

エンドスコピック・ソリューションズ・エコシステム
（デジタル医療ソリューション等）

インテリジェント内視鏡医療エコシステム
オペレーティング・ソフトウェアプラットフォーム

AI によるインサイトと検出
／診断支援

リプロセス

内視鏡自動洗浄消毒装置

医薬品、付属品、周辺機器

修理サービス

リペアセンター

注：2025年4月より、事業部門である 内視鏡事業と治療機器事業を、消化器内視鏡ソリューション事業（GIS事業）とサージカルインター ベンション事業（SIS事業）の新しい部門に再編しています。
医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております。

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

サージカルインターベンション事業

呼吸器科

気管支鏡
システム

気管支鏡用
処置具

肺がん診断

COPD（慢性閉塞性肺疾患）

泌尿器科

イメージング技術

結石治療

前立腺肥大症
低侵襲治療デバイス

前立腺がん治療デバイス

高周波手術装置

外科（外科用内視鏡、外科用処置具、耳鼻咽喉科含む）

外科手術用内視鏡システム

エネルギーデバイス

外科用顕微鏡

手術室システムインテグレーション

耳鼻咽喉ビデオスコープ

注：2025年4月より、事業部門である 内視鏡事業と治療機器事業を、消化器内視鏡ソリューション事業（GIS事業）とサージカルインター ベンション事業（SIS事業）の新しい部門に再編しています。
医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております。

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

経営戦略

03

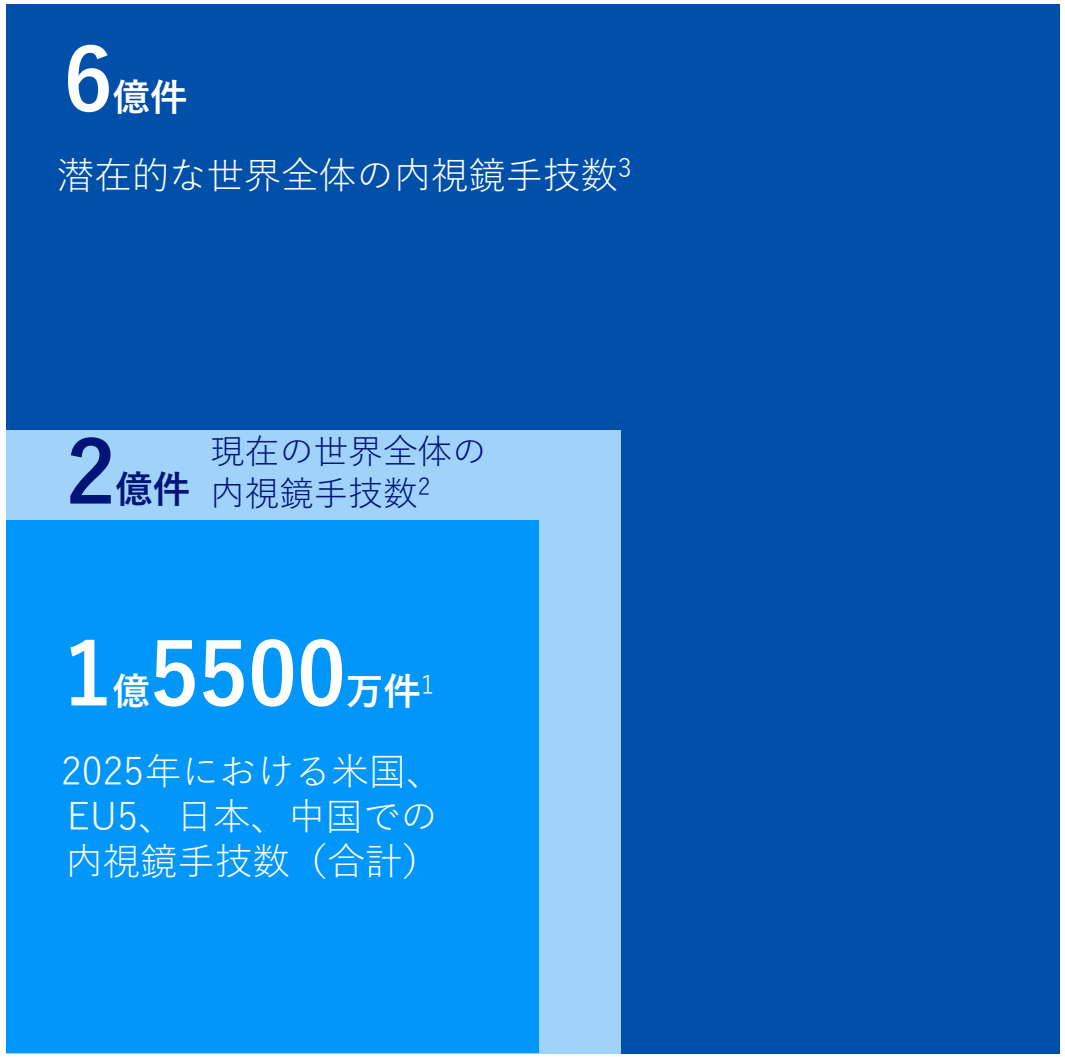
マクロ要因とより良い医療へのニーズを背景として世界的に内視鏡手技の需要が増加

世界的な需要の高まりにより、内視鏡を用いた医療は年率5%成長

- 高齢化の進展（世界人口の40%以上が60歳超）
- 消化器系、泌尿器系、肺がんの罹患率増加
- 医療アクセスの拡大

さらなる成長の機会

- 医療サービスが十分に行き届いていない地域におけるアクセスの向上
- ERCPやESDなどの確立された手技の拡大
- 侵襲性が高い治療に依存している関連分野における低侵襲手技の拡大



[1] AcuityMD, Ministries of Health, IQVIA FlexView MedTech, 当社の中国市場調査に基づくデータ
[2] MedTechIQVIA FlexView MedTechに基づき当社の市場分析によって算出
[3] 世界全体での一人当たりの手技数が米国、欧州、日本、中国の水準に達すると仮定して当社が算出

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

医療のニーズと可能性に応えるための、内視鏡医療の新たなビジョン

患者さん

高度で低侵襲な内視鏡検査により、正確性と安心感をもたらします

- 新たなテクノロジーにより、早期かつ正確な診断を可能にし、不要な組織検査を減少
- 即日で検査結果を提供することにより、不安を軽減
- より低侵襲な治療により、さらに回復期間を短縮

医療従事者

より安全、スマートで一貫性のある内視鏡検査へ

- テクノロジーにより、手作業と業務負荷を軽減
- 自動化の推進により、臨床判断や患者さんとのコミュニケーションに充てる時間を確保
- 複雑な手技における一貫性と再現性を実現
- データ管理により、患者さんに継続的なケアを提供

管理者

先進的なテクノロジーで効率化とコスト削減を推進します

- 予知保守と適切な設備管理により、保有設備の使用可能時間（Uptime）を最大化
- シングルユースかつモジュール式のツールにより、物品管理を簡略化
- 合理的なオペレーションにより、さらなるコスト効率化と基準への準拠を確保

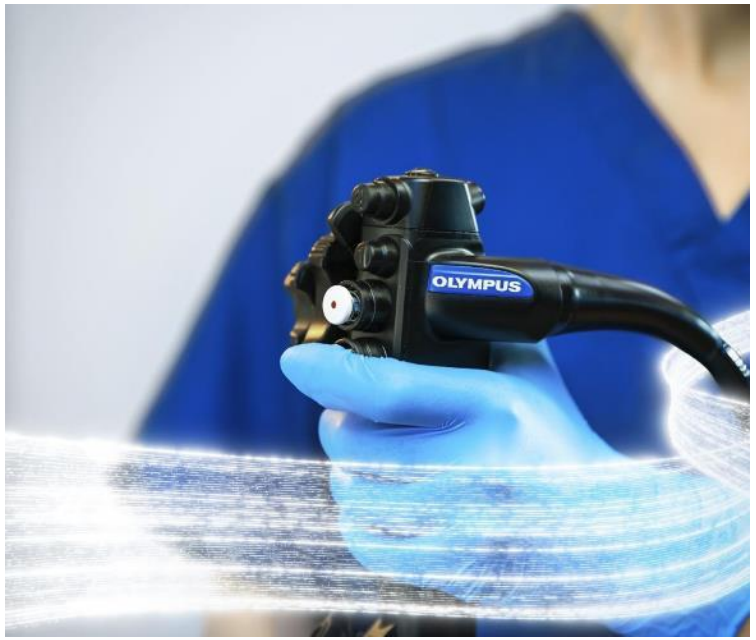
Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

内視鏡医療の未来を切り拓くオリンパス

内視鏡医療を支える基盤

世界に広がる内視鏡システムという強固なインフラを通じて、拡張性と統合性を備えた ワークフローを実現

お客様の保有設備の使用可能時間（Uptime）を最大化するためのサービス・サポート・トレーニングを提供



先進的な内視鏡と治療機器

幅広い治療領域および医療現場において、疾患の検出、診断、治療に対応する、多様な内視鏡および治療機器のポートフォリオ

未来を牽引するテクノロジー

AI、ロボティクス、ワークフロー管理による手技とアウトカムの最適化

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

エンドスイート[1]の未来へ投資を加速

AIを内視鏡検査のエコシステムに統合

OLYSENSEのCAD/AIを米国および欧州の一部の国々で発売。2028年3月期までに全世界で当社の基盤製品（消化器内視鏡システム）のうち最大5%をこのプラットフォームに接続し、2031年3月期までに25%へ引き上げる計画

エンドルミナルロボティクスのソリューションを構築

Swan EndoSurgicalをはじめとするパートナーシップは、より短い処置時間と合併症リスクの低減をサポートする新たな消化器医療の基準を確立する基盤を築き、治療法の普及に貢献

先進的な診断・治療のポートフォリオの拡充

疾患の検出、診断、治療を行う先進的なソリューションを開発、提携、獲得し、医療従事者に当社の臨床および疾患の重点領域におけるソリューションを提供

[1] 人工知能（AI）や他のデジタルツールや技術を活用して、患者さんが体験する医療の質を向上させ、内視鏡治療の可能性を広げることができるソリューション
（注）医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

内視鏡医療の新たな世界

より良い医療

疾患の早期発見

診断からステージ分類、治療までを同日に完結

低侵襲治療法の選択肢を拡充し、外科手術への依存を低減

より多くの疾患の内視鏡的治療を実現

スマートなワークフローによる効率化の推進

統合されたテクノロジーにより実現

クラウド接続されたハードウェア、デバイス、ソフトウェア、サービスからなるエコシステムを、最先端の光学技術、AI、ロボティクスと組み合わせて構築

統合されたデータを活用し、医療の様々な場面で、個別最適化されたインサイトを提供

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

パーパスを原動力に成長を実現する企業として、内視鏡医療の未来を切り拓く

私たちの存在意義

世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現

当社の戦略基盤

イノベーションによる成長

次世代イノベーションをリードし、
成長市場での事業拡大を図る

- 重点的な投資によるポートフォリオの強化
- OLYSENSE、ロボティクス技術によって内視鏡医療の未来を切り拓く
- 中国の業績向上と新興国市場での成長戦略の確立
- 関連分野におけるタックインM&Aを推進

シンプル化

オリンパスをシンプル化し、
迅速な意思決定と効率的な運営を実現

- 競争力のあるコスト基盤のもと、事業主体のスリムなオペレーティング・モデルとガバナンスを構築
- エンド・ツー・エンドのプロセスをさらに融合し、AIを活用
- 新製品の継続的かつ迅速なリリースに向けたイノベーションモデルを改善
- 強固で柔軟かつ効率的な製造・サプライチェーンを構築

責任ある行動

オーナーシップと実行力を発揮する
ハイパフォーマンス文化を浸透させる

- 患者さん第一の考え方を根付かせ、あらゆる業務プロセスに品質と安全の視点を組み込む
- ESGの取り組みを確実に遂行
- グローバルな「オリンパス・マネジメント・システム」の確立

FY27-FY29 財務ガイダンス

売上高[1]	営業利益率[2]	EPS成長率[2]
約 5 %	約 100 bps	10 %超
FY29までに前年比5%の売上成長	FY26を起点に毎年の利益率改善	FY26を起点としたCAGR

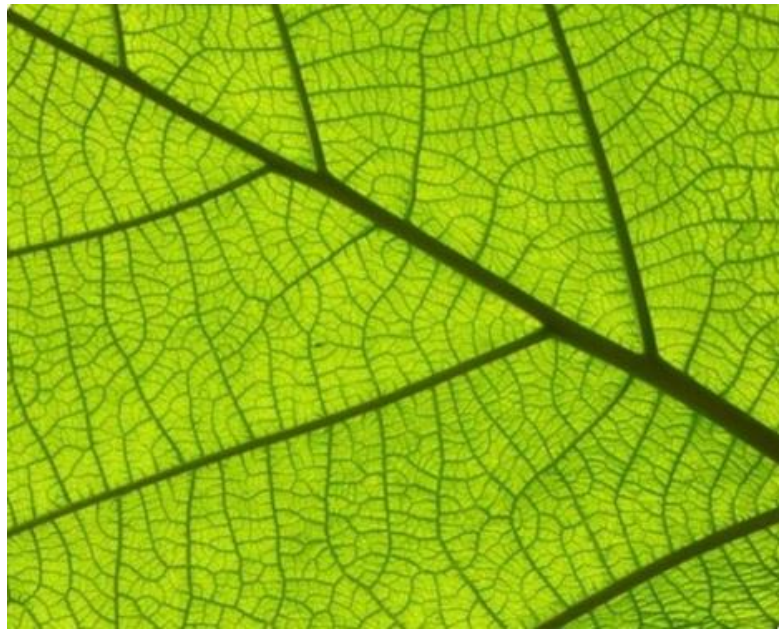
[1] 為替前提を固定　[2] 特殊要因調整後：その他の収益および費用を除く、為替レート変動による影響は調整せず。実際の為替レートを使用

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

持続可能な
社会の実現のために

04

ESGにおける課題*



Environment 環境

- 気候変動への対応
- 脱炭素・循環型社会への貢献
- 温室効果ガスの削減
- 水・廃棄物の削減

Social 社会

- 人権
- インクルージョン
- 労働環境の安全性
- 医療機会の幅広い提供および
  アウトカムの向上

Governance ガバナンス

- リスクマネジメント・危機管理
- 経営体制の強化
- 情報開示の透明性

*一例のみ / すべてを網羅したものではありません

サステナビリティページ

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

OLYMPUS

6つのESG重点領域と最優先マテリアリティ項目

医療機会の幅広い提供およびアウトカムの向上

医療アクセスおよび医療公平性改善への貢献

コンプライアンスおよび製品の品質安全性への注力

製品、サービス、ソリューションの品質と安全性の確保

責任あるサプライチェーンの推進

サプライチェーンのリスク軽減と耐性の確保

健やかな組織文化

インクルージョンの推進

社会と協調した脱炭素・循環型社会実現への貢献

脱炭素への取り組み（スコープ1、2、3）、循環型社会実現に貢献する製品ライフサイクル管理

コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンスと情報開示の透明性確保

マテリアリティ ストーリー　インパクトアクション ストーリー

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

OLYMPUS

会社情報

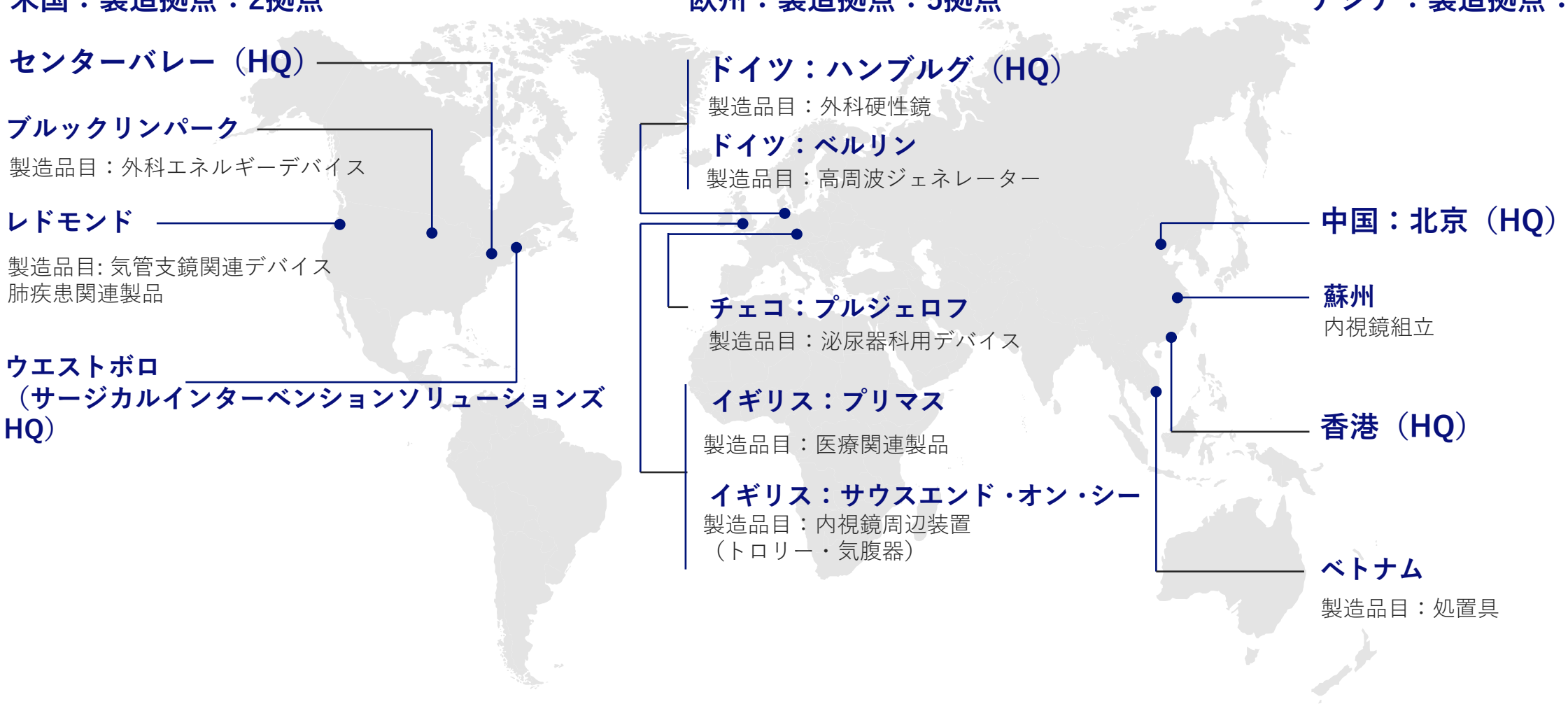
05

会社概要

商号	オリンパス株式会社（Olympus Corporation）
上場市場	東京証券取引所プライム市場（証券コード：7733）
設立	1919年10月12日
本社	〒192-8507 東京都八王子市石川町2951
資本金	1,246億円（2026年3月現在）
連結売上高	1兆107億円（2026年3月期）
連結従業員数	28,138人（2026年3月現在）
企業ウェブサイト	https://www.olympus.co.jp/

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

主な海外拠点と製造拠点



米国：製造拠点：2拠点

センターバレー（HQ）

ブルックリンパーク

製造品目：外科エネルギーデバイス

レドモンド

製造品目: 気管支鏡関連デバイス
肺疾患関連製品

ウエストボロ（サージカルインターベンションソリューションズ HQ）

欧州：製造拠点：5拠点

ドイツ：ハンブルグ（HQ）

製造品目：外科硬性鏡

ドイツ：ベルリン

製造品目：高周波ジェネレーター

チェコ：プルジェロフ

製造品目：泌尿器科用デバイス

イギリス：プリマス

製造品目：医療関連製品

イギリス：サウスエンド・オン・シー

製造品目：内視鏡周辺装置（トロリー・気腹器）

アジア：製造拠点：2拠点

中国：北京（HQ）

蘇州

内視鏡組立

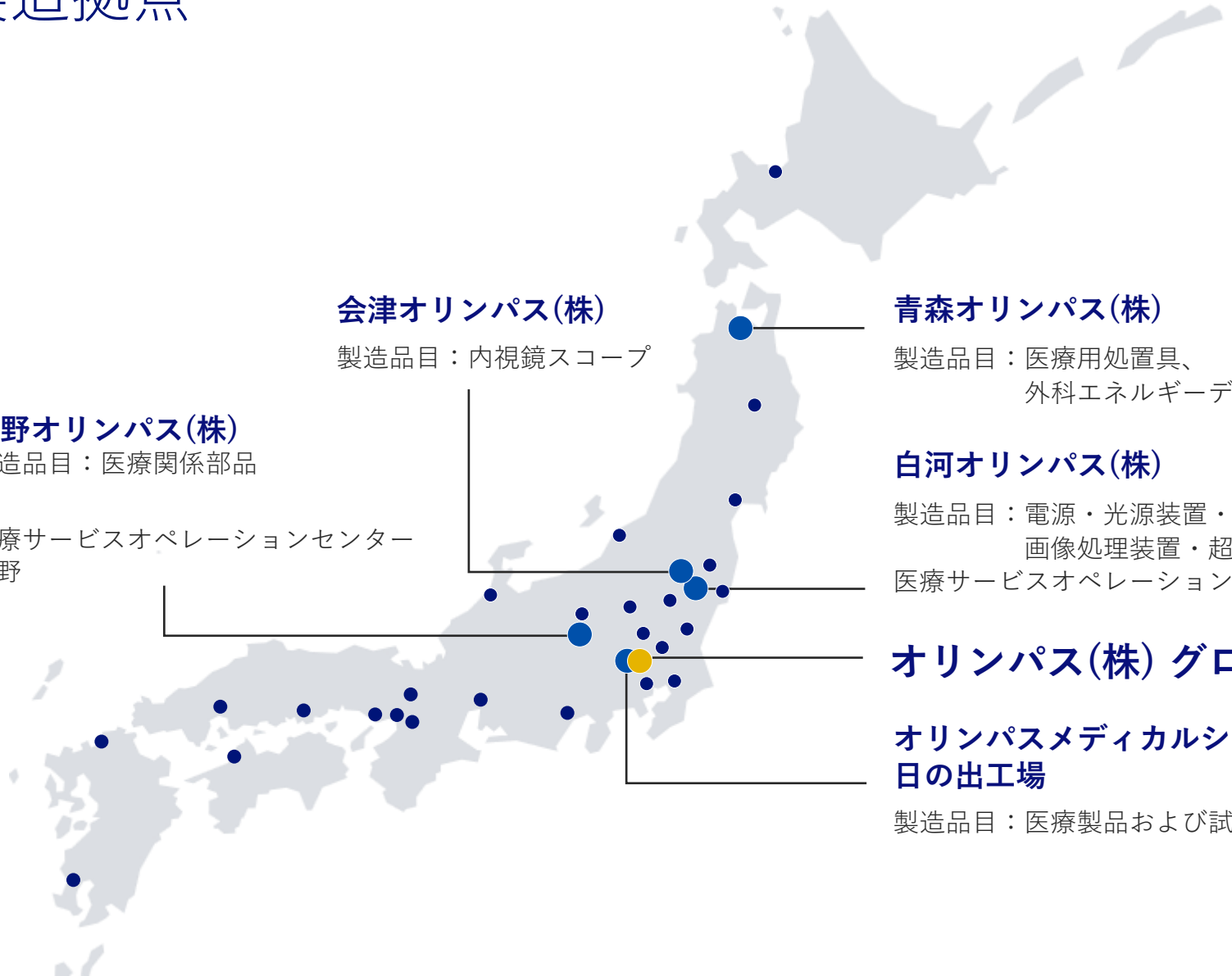
香港（HQ）

ベトナム

製造品目：処置具

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

国内拠点と製造拠点



会津オリンパス(株)
製造品目：内視鏡スコープ

長野オリンパス(株)
製造品目：医療関係部品

医療サービスオペレーションセンター
長野

青森オリンパス(株)
製造品目：医療用処置具、
外科エネルギーデバイス

白河オリンパス(株)
製造品目：電源・光源装置・
画像処理装置・超音波内視鏡
医療サービスオペレーションセンター白河

オリンパス(株) グローバル本社

**オリンパスメディカルシステムズ(株)
日の出工場**
製造品目：医療製品および試作品の製造

- 製造・修理
- 販売・マーケティング

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

執行役一覧

ボブ・ホワイト

取締役 代表執行役
社長兼CEO（最高経営責任者）

ジモーネ・バーガー

執行役
チーフヒューマンリソーシズ
オフィサー
（最高人事総務責任者）

キース・ベティガー

執行役
ガストロインテスティナル
ソリューションズ ディビジョンヘッド
（最高消化器内視鏡ソリューション
事業責任者）

ジョン・デ・チェペル

執行役
チーフメディカルオフィサー
（最高医学責任者）

ガブリエラ・ケイナー

執行役
チーフストラテジーオフィサー
（最高経営戦略統括責任者）

倉本 聖治

執行役
サージカルインターベンション
ソリューションズ
ディビジョンヘッド
（最高サージカルインターベンション
事業責任者）

サヤード・ナヴィード

執行役
チーフテクノロジーオフィサー
（最高技術責任者）

マイケル・パレンティ

執行役
チーフファイナンシャルオフィサー
（最高財務責任者）

デイビッド・シャン

執行役
チーフマニュファクチャリング
アンドサプライオフィサー
（最高製造供給責任者）

ブライアン・バリー

執行役
チーフクオリティオフィサー
（最高品質法規制責任者）

ニール・ボイデン・タナー

執行役
グローバルジェネラル カウンセル
（最高法務責任者）

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

付録 :オリンパスの歴史

06

オリンパスの歴史

1919

創業者・山下長
（やました・たけし）により
顕微鏡の国産化を
目指し、創立。
当時の社名は
高千穂製作所
（10月12日）

顕微鏡**旭号**
を発売

1920

1936

写真レンズ「ズイコー」を
開発し、当社初のカメラ
セミオリンパスⅠを発売

オリンパス光学工業に
社名を改称

1949

1950

世界初の実用的な
ガストロカメラ
（胃カメラ）を開発

欧州現地法人
オリンパス・オプティカル・
カンパニー
（ドイツ・ハンブルグ）を設立

1964

1968

顕微鏡、測定器、
医療機器分野の米国現地法人
オリンパス・コーポレーション・
オブ・アメリカ設立

ドイツ・ウィンター&
イベ社との
協業にもとづき外科用硬
性内視鏡に本格的に進出

1975

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

オリンパスの歴史

1985
内視鏡ビデオ
情報システム発売

2003
オリンパス株式会社
に社名を改称

2011
過去の損失計上の
先送りが発覚、
第三者調査委員会
を設置

2012
新経営体制の下、
「Back to Basics」を
掲げるとともに、
中期ビジョンを発表

2019
オリンパス100周年
企業変革プラン
「Transform Olympus」、
経営戦略を発表

2020
内視鏡
ビデオスコープシステム
EVIS X1を発売

2021
映像事業を
譲渡

2023
科学事業を
譲渡

2024
本社を新宿から
八王子市に移転、
「グローバル本社」へ

Olympus Corporation No data copy / No data transfer permitted / August 2026 Ver.3/ LCR59734V02

OLYMPUS